

南区まちづくり運営方針の素案について

○ 「現状・課題と求められている取組」について

南区まちづくり運営方針策定に当たって聴取した区民意見（前回の部会にて説明）及び前回の部会での委員の皆様の御意見を踏まえ、主な「現状・課題」をまとめるとともに、これらに対する「求められている取組」（事務局案）を記載しております。

○ 「現状・課題と求められている取組」

分野	現状・課題	求められている取組
<p>みなみ力（地域力）が息づくまち</p>	<p>○南区は近年、若い世代を中心に他地域からの転入が転出を超過しており、人口・世帯数ともに横ばい傾向にあるが、人口動態やライフスタイルの変化、価値観の多様化により、自治会・町内会への加入率は年々低下するなど、地域における人間関係の弱体化、担い手の不足、つながりや支え合いの希薄化が進んでいる。</p> <p>○近年、マンションなどの集合住宅が増え、特に、京都駅をはじめとする駅周辺で急増している单身向け賃貸マンションの居住者が町内会の加入に協力的でない事例が多く生じており、住民間のコミュニティの形成を困難にしている。</p> <p>○人と人とのつながりの大切さを強く認識し、居場所づくりの取組の充実をはじめ、様々な世代や多様な主体の交ざり合いを促進し、みなみ力（地域力）を若い世代に引き継いでいく取組が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自治会・町内会への加入を促進する取組 ○ 地域活動への理解・参加を促すことによる、地域を支える次世代の担い手の確保・育成 ○ 新たにまちづくり活動を行う団体や個人を支援する取組 ○ 各学区での地域行事やイベント、スポーツ活動を通じた住民同士の交流の促進 ○ つながりを生み出すための、気軽に参加できる場づくり（世代や学区・地域を超えて交流ができるイベントの開催など） ○ 地域団体や市民活動団体、地域企業など多様な主体が地域内で交流する場の創出
<p>子ども・若者が育つまち</p>	<p>○他行政区と比較して年少人口や合計特殊出生率が市内で上位であることから子育て世帯の占める割合が多い。またJR桂川やJR西大路近隣の出生数が多いが、それ以外の地域は少ないなど二極化が進んでおり、出生数の少ない地域に住む子育て家庭では、保育施設や幼稚園に通うまでの間、他の子どもと交流する機会が少なく、親子が孤立しやすい環境にある。</p> <p>○特に、西部地域は、地理的に遠方な交通上の問題に加え、急激な人口増のため、保健事業や交流・居場所づくりをはじめとするサービスを受けにくい状況にある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子育て世帯への訪問、発信機能の強化 ○ 子育て世帯の居場所の確保・充実 ○ 子育てネットワークの取組の活性化促進 ○ 出生数が多い地域での居場所の確保 ○ 遠隔地支援
<p>健やかに暮らせるまち</p>	<p>○南区の高齢化率は25.1%（R7）と、他の行政区と比べると低い水準ではあるものの高齢化が進む中、健康寿命を延伸し、誰もが年齢を重ねても地域の支え手として活躍できる活力ある地域社会を実現するため、区民一人ひとりがそれぞれのライフステージや心身の状況に応じて、主体的・継続的に健康づくりに取り組む環境づくりを推進する必要がある。</p> <p>○長年地域の福祉や見守りを支えている民生委員や老人福祉員の担い手不足が深刻になっている。</p> <p>○少子高齢化や単身世帯の増加、ライフスタイルの変化等により、社会や家族の構造が大きく変化している。その結果住民同士のつながりが希薄化し、これに伴いひきこもりやごみ屋敷など孤独・孤立を背景とした課題の複雑化・多様化が進んでいる。</p> <p>○これらに対し、きめ細やかな支援を行うため、これまでの分野ごとの支援だけでなく、包括的な支援が必要であり、重層的支援体制を構築し、個別支援から地域づくりに至るまで、地域共生社会につながるよう取組を進める必要がある。</p> <p>○外国籍市民が増加傾向にある中、多様な文化や人権を尊重するとともに、障害のある方や介護が必要な方をはじめ支援が必要な人を地域全体で支え、誰一人取り残さない環境づくりが求められる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 民生委員・児童委員や老人福祉員等の活動支援 ○ 福祉行事やコミュニティ活動等を通じた新たな担い手の育成 ○ 地域包括ケアの推進 ○ 老老介護や一人暮らしの高齢者、親なき後の障害者を地域で支える見守り活動 ○ 見守り・相談支援活動、あらゆる人が参加できる居場所づくりや交流の促進 ○ 地域主体、市民主体の健康づくりの活動支援 ○ ライフステージや心身の状態に応じた健康づくり ○ 分野を横断した包括的な相談支援体制 ○ 重層支援会議等、関係機関や支援者間のネットワーク構築 ○ 人権教育・啓発活動

○ 「現状・課題と求められている取組」

分野	現状・課題	求められている取組
<p>活力あふれるまち</p>	<p>○主要幹線道路があり、名神高速道路のインターチェンジにも近いといった交通利便性がある。</p> <p>○多くの職種の企業が集積する特徴を生かし、区民と企業との交流を通してつながりを深め、まちが更に活性化していくことが求められる。</p>	<p>○ 地域と企業の交流の促進</p> <p>○ 社会課題の解決や地域活性化に取り組む企業・地域・行政との連携促進</p> <p>○ 区内企業・農業の情報発信</p>
<p>文化芸術でつながるまち</p>	<p>○南区は、世界遺産である東寺や六斎念仏など古くからの文化遺産とともに、多様な文化・芸術が息づいている。古くからの文化芸術を次世代にしっかりと引き継ぐとともに、京都駅周辺を中心とした新たな文化拠点を含めた文化芸術のまちづくりを進めていく必要がある。</p> <p>○京都駅東南部エリアでは、文化芸術を軸としたまちづくりを進めている。</p> <p>○南区に住む外国籍の住民は増加傾向にあり、多様な文化や人権を尊重し、共に生きる社会を目指して、多文化交流の取組を進めていく必要がある。</p>	<p>○ 地域に根差した文化活動の推進</p> <p>○ 区内の文化遺産に触れる機会の提供</p> <p>○ 文化の担い手・支え手の育成</p> <p>○ 多様な文化芸術の交流及び情報発信・共有</p>
<p>いのちと暮らしを守るまち</p>	<p>○発生の可能性が高まっているとされる南海トラフ地震や花折断層等に伴う大規模地震のほか、集中豪雨・巨大台風など自然災害の激甚化、市街地特有の内水氾濫発生の恐れなど、様々な災害を想定した防災対策・地域防災力の向上が求められている。</p> <p>○ライフスタイルや価値観の多様化などを背景とした地域のつながり、支えあいの希薄化、高齢化に伴う地域団体の担い手が不足などにより、平常時の防災訓練等の実施や発災時の指定避難所の運営体制の確保等が大きな課題となっている。</p> <p>○学区防災訓練等においては、若年層の参加が少なく、幅広い年代の防災意識の向上が課題となっている。</p> <p>○（南区特有の課題ではないが）指定避難所の収容人数に限りがあることに加え、今後、一人当たりの面積の見直し（2㎡⇒3.5㎡）により、収容人数が少なくなることが見込まれる。一方で、発災時に臨機応変に使用できる施設の確保自体が難しいことに加え、施設が確保できた場合でも、上記のとおり、地域コミュニティの希薄化や高齢化等により、指定避難所の運営体制の確保が課題となっており、単純に新たな避難先が確保できれば良いというものでもないため、現状を踏まえた対応が必要となっている。</p> <p>○大規模ターミナルである京都駅に近接する地域においては、発災時には、外国人観光客も含む帰宅困難者が大量に発生し、指定避難所に避難してくる可能性がある。</p> <p>○まちなかでは、毎年、空き家の通報件数が一定数あり、管理が不十分な場合、住民にとって環境面や防犯面での課題となっている。</p>	<p>○ 地域防災力の向上の取組</p> <p>○ 幅広い年代の区民の防災意識の向上</p> <p>○ 防災対策における新たな担い手の創出</p> <p>○ 避難先の確保や円滑な避難所運営に向けた訓練等</p> <p>○ 高齢者をはじめとした区民の安心安全に向けた取組</p> <p>○ 子どもの見守り・安全対策</p> <p>○ 自転車マナーや交通ルール等の啓発活動</p> <p>○ 危険な空き家発生予防・放置防止の取組</p>
<p>美しく環境にやさしいまち</p>	<p>○南区では、南区自治連合会を中心に、年4回区内全域で、道路や公園を一斉に清掃する「南区一斉清掃」の実施や、西大路駅周辺を美しくする会による美化活動及び「花いっぱい運動」などの美化活動が展開されている。</p> <p>○区民・事業者・行政が一体となり、まちの美化活動をこれからも継続して取り組んでいく必要がある。</p>	<p>○ 「南区一斉清掃」の継続実施</p> <p>○ 「花いっぱい運動」の継続実施</p>

現行計画

○ キャッチフレーズ

みなみ力ではぐくむ
みんなの笑顔が
あふれるまち

○ めざす区の未来像

みなみ力
(地域力)が
息づくまち

子ども・若者が
育つまち

健やかに
暮らせるまち

活力あふれる
まち

文化芸術で
つながるまち

いのちと暮らしを
守るまち

美しく環境に
やさしいまち

まちづくり運営方針（案）

○ 目指す姿（キャッチフレーズ）

みなみ力で誰もがつながり
住みよいまち 南区

○ まちづくりの方向性

京都基本構想のキーワード
○(多層的でゆるやかな)つながり
○支え合い
○「居場所」と「出番」
○京都学藝衆構想

新ビジョンのキーワード
○地域コミュニティHub
(区Hub)
○ゆるやかさ、しなやかさ
○余白を埋め合う



◎「みなみ力」とは
南区民の皆様はもちろん、事業者、団体、学校、行政等、南区と関わりを有するさまざまな主体による、「人と人との結びつき」や「活発なまちづくり活動」といった、南区ならではのまちづくりの原動力となる連携・協働の力

※「みなみ力」を中心に、それぞれの取組は相互に作用し合い、連環するイメージ

<令和8年度の主要な取組>（区役所予算）

- 「地域コミュニティHub」の推進 ●●●●
区役所が結節点となり、区民や地域の多様な主体とのつながり、交ざり合いを促進
区役所別館ロビーで人が集う場づくりを行い、「居場所」と「出番」を創出
- 南区まちづくり、はじめの一步応援事業 ●●●●●
新たなまちづくり活動が芽生え続けるため、南区内においてまちづくり活動のはじめの一步を踏み出す方を支援
- マンション等への自治会加入PR事業 ●●●●●
新規に建設されるマンションや、自治会・町内会未加入のマンション等を対象に加入を促進
- 南区情報ステーション事業 ●●●●●
南区の魅力的な「ひと・もの・こと」をSNSで発信し、区民の地域への愛着を醸成するとともに、南区に興味・関心を持つ方を増やす。
- 南区民ふれあいまつり ●●●●●
全学区参加による区民交流の場「南区民ふれあいまつり」を開催
- 地域ぐるみでの子育て支援推進事業 ●●●●●
親子同士の交流促進・相談の場づくりの実施及び防災や乳幼児の事故防止に係る啓発等の子どものいのちを守るための取組を充実し、子育てを支援
- 南区子育て魅力発信 ●●●●●
リーフレット等による子育て環境の魅力情報を発信し、定住を促進
- 地域福祉活動の支援 ●●●●●
民生委員・老人福祉員・社会福祉協議会・福祉事業者等の“地域福祉の担い手”と連携し、見守りや居場所づくりをはじめとする地域福祉活動を支援
- 健康長寿推進事業 ●●●●●
世代別の健康増進と健康づくりと通じた区の活性化を目指し、健康づくりに関する普及啓発や健康意識の向上を図るとともに、健康づくりを通じて居場所づくりや参加を支援
- 文化活動の推進 ●●●●●
区民主体の「南区民文化フォーラム」「南区民文化芸能フェスティバル」「南区民文化展」等を開催
- 学区の安心安全応援事業 ●●●●●
防犯、防災、子どもたちの安全対策等、地域の安心・安全を確保するための取組を支援
- 避難所体験型研修 ●●●●●
住民（自治会・自主防災会等）との協働による避難所の開設・運営体験
- 小学校の授業と連携した防災啓発活動 ●●●●●
小学校の授業と連携し、防災知識の習得を促進
- 企業・地域連携による地域防災力の向上事業 ●●●●●
企業・事業所が多い南区の特徴を生かし、企業等の防災意識の向上、企業と地域の連携を促進する取組を実施

- 凡例 ●●●●● …みなみ力（地域力）でつながるまち
●●●●● …みんなが健やかに暮らせるまち
●●●●● …暮らしに文化が根づくまち
●●●●● …災害に強く安全なまち